

**高齢者の排泄  
確認テスト（グループワーク）**

**第4回 排尿日誌**

**グループワーク**

下記の事例の排尿日誌から

- ①正常でないと考えられることは何か
- ②考えられる失禁の種類
- ③利用者が困っていると考えられること
- ④対応方法

上記の4点について話し合う。（全て根拠も考えること）

**事例**

Aさん 82歳 女性

認知症状はほとんどなく、年相応の物忘れ程度。話好きで、話出すと夢中になり他の事を忘れてしまう。

以前に大腿骨頸部骨折をしており、伝い歩きは可能（不安定）だが、移動は車椅子（自走…足こぎ）を使用。

移乗は自立だが時間がかかる。何かにつかまっていれば立位は可能。

いつも「私はトイレが近いから…」と言われている。

コーヒーがお好きで毎日、2～3杯は飲まれている。

食事は提供されるもの以外に、必ず梅干しや佃煮、漬物などを毎食召し上がっている。

時間	排尿量	失禁の有無	水分量	備考
6:00	200	○	100	起床 移乗に時間がかかり間に合わなかった
7:00	80		300	排便有 朝食 (梅干し2こ)・コーヒー
8:00	100	○		
9:00	100	○		
10:00	100		400	喫茶店でコーヒー
12:00	150	○	200	昼食 (佃煮・漬物)
14:00	150			
15:00	80	○	200	コーヒー
17:00	80		300	夕食 (漬物)
18:00	180	○		ズボンの上げ下ろしに手間どってしまった
19:00	100		100	
21:00	100		100	就寝
23:00	170		100	トイレの為覚醒
1:00	180		100	トイレの為覚醒
3:00	150		100	トイレの為覚醒
4:00	100		100	トイレの為覚醒

高齢者の排泄  
確認テスト

第5回 排便のメカニズムと高齢者の特徴

問題1

直腸に便がたまると直腸壁が伸展し、その刺激が脳に伝わり「ウンチがしたい」と感じることを何と言うか？

問題2

口から入った食べ物が便として排泄されるまでにどれくらいの時間がかかるのか？

問題3

加齢に伴う機能低下や能力低下から何に悩まされえている高齢者が多いか？

問題4

問題3の答えの要因をあげなさい。

問題5

直腸に便がたまって脳に適切な信号を送らなくなる原因は何か？

問題6

高齢者の特徴について間違っているものを選びなさい。

- ①高齢者の下痢は飲みすぎや食べ過ぎによるものは少ない。
- ②高齢者は骨盤底筋がゆるくなり便失禁を起こしやすい。
- ③高齢者は入れ歯の不具合や歯の欠損が原因で下痢を起こすことが多い。
- ④下剤の調整がうまくできず下痢や便失禁につながっている場合もある。
- ⑤切迫性と溢流性の便失禁で下剤を使用している場合は、下剤を調整することで改善することもある。